

# 第4章 価値創造を支える取り組み 環境への取り組み



ミネベアミツミグループは、「ミネベアミツミグループ環境方針」の下、**環境マネジメントシステムを構築しています。**  
2020年3月期から新たに「**グリーンプロダクツ制度**」を導入開始し、**環境貢献製品に関するKPIとしてモニタリングしてまいります。**

右記 QR コードから環境方針がご覧いただけます。



## ■ 環境への取り組みハイライト

**グリーンプロダクツ  
制度導入**

ISO 14001取得率  
**100%**  
(主要生産拠点)

工場排水ゼロシステム導入工場  
**5**工場

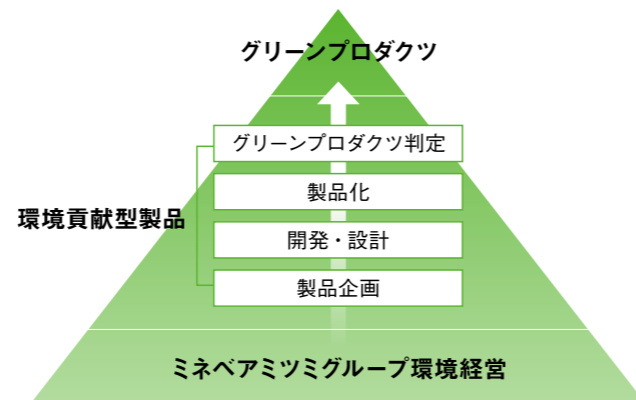
## 製品による環境負荷低減

マテリアリティ  
**6**

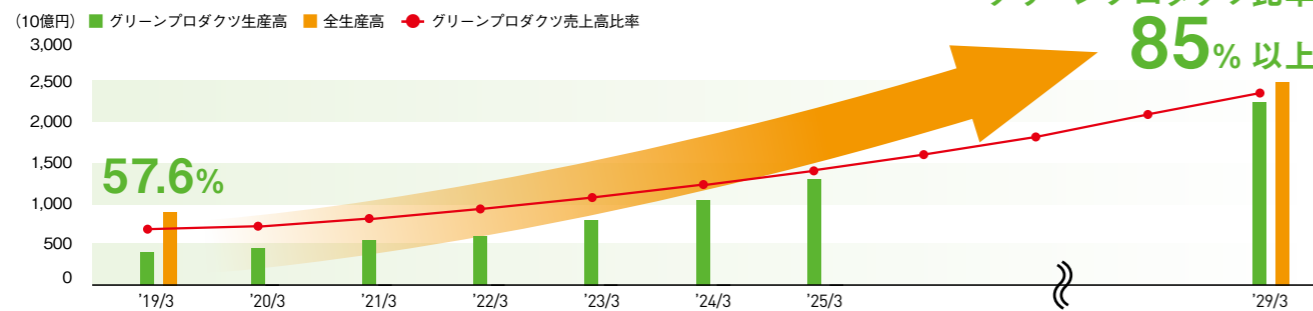
### 「グリーンプロダクツ制度」の導入

当社の製品はほぼすべてが小型で精密なダウンサイジングを可能とする環境貢献製品であり、省エネ、省スペース化に貢献しています。このたび、そのなかでも特に環境貢献に優れた製品を選定し、ミネベアミツミグリーンプロダクツとして認定する「グリーンプロダクツ制度」を導入しました。企業活動そのものを通じて省エネルギーや地球環境改善に貢献する製品を創出し、2029年3月期には当社売上高に占めるグリーンプロダクツの比率を85%以上にまで高める計画です。

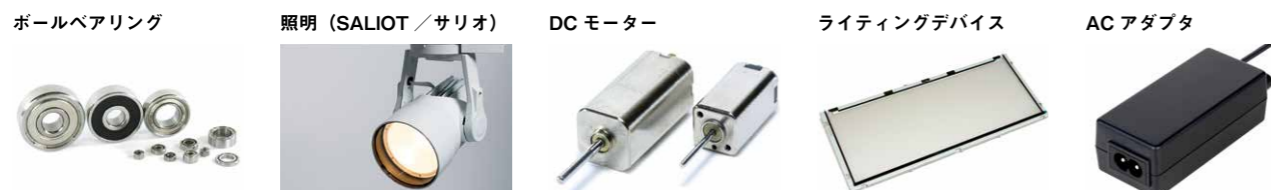
### ■ グリーンプロダクツ認定体系



### ■ グリーンプロダクツ製品の生産目標



グリーンプロダクツ認定製品 (以下に紹介の製品は、グリーンプロダクツ認定製品の一部です。)



## 環境負荷低減への取り組み

### 環境マネジメント体制

当社グループでは、「ミネベアミツミグループ環境方針」を実践するために、取締役会、社長執行役員をトップとした環境マネジメント体制を構築しています。全体の推進組織として、役員を中心とした環境マネジメント委員会と実務者によるグループ環境対策委員会を設置し、環境政策について迅速に対応できる体制としています。また、各事業所に事業所環境管理総括責任者と環境管理責任者を配し、工場、事業所ごとに具体的な環境保全活動を推進しています。また、当社は気候変動、水問題への取り組みについて、CDP投資家質問書への回答等を通じて、環境情報を開示しています。

### ISO 14001認証取得の推進

当社グループでは、世界中の主要拠点においてISO 14001の認証取得を推進しています。新設工場や新たに当社グループに加わった工場なども、認証取得計画に基づき環境マネジメント活動を開始します。2020年3月期は販売子会社のエヌ・エム・ビー販売株式会社が認証取得を目指します。

### 地球温暖化防止の取り組み

当社グループは、世界規模での課題となっている地球温暖化問題と、その影響によるエネルギー価格の上昇や異常気象の発生などが、事業活動の継続にも大きな影響を与えると考えています。当社グループでは、地球温暖化防止に取り組むため、各事業所で積極的に省エネルギー対策を進めています。

### ■ 「事業活動温暖化対策計画書制度 優良事業者」として表彰

ミネベアミツミ軽井沢工場は、長野県から積極的に温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる企業として表彰されました。県の地球温暖化対策条例に基づき、一定規模以上の企業に温室効果ガスの排出抑制計画の提出を義務付けており、計画内容や具体的な取り組み結果を基に評価されたものです。



表彰式

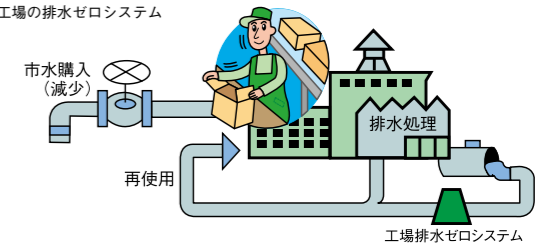
### 資源の有効活用

当社グループの製品に欠かせない金属、プラスチックなどの原材料や、エネルギー源となる石油、天然ガスなどは、その埋蔵量に限りがあります。また、生活や生産活動に欠かすことのできない水も大切な地球資源です。当社グループでは、事業活動の継続のためには資源の有効活用が重要であると考え、取り組んでいます。

### ■ 工場排水ゼロシステムの運用 (タイ、中国)

当社グループには製品の加工工程で大量の水を使用する工場があり、排水の削減に取り組んでいます。工場で使用された水は、各国各地域の環境法令基準値以下まで浄化され、放流されますが、それでも地域周辺への環境影響はゼロとは言えません。そこで、当社グループでは水使用量の多いタイ、中国の工場において「工場排水ゼロシステム」を導入し、放流する工場排水とその環境影響のゼロ化に取り組んでいます。タイのバンブイン工場、アユタヤ工場、ロップリ工場、中国の上海工場、西岑工場を導入しています。

バンブイン工場の排水ゼロシステム



## 廃プラスチック削減アクション (カンボジア)

社会インフラ・教育制度が十分に整わず、ゴミ収集、分別、廃棄などが大きな社会問題となっているカンボジアにおいて、ミネベアミツミ・カンボジア工場では、同国内においていち早く食堂のプラスチック廃棄物を削減する取り組みを開始しました。

約9,000名にのぼる現地社員が高い環境意識を持ってボトムアップで対策を進め、従来の食堂で使用していたフルーツの使い捨てのビニール袋による販売を、2019年3月より再利用可能なプラスチックプレートでの販売に変更し、1ヵ月当たり約16万枚、重量にして312kgのビニール袋を削減しました。今後は竹製のバンブーストローや再利用可能プラスチックカップの導入も検討し、1ヵ月当たり10万個のプラスチック廃棄物を一層削減する計画です。

プラスチック廃棄物はG20大阪サミット(2019年6月開催)でも重要テーマの一つに挙げられ、世界的な社会課題となっています。ミネベアミツミはカンボジアでの成功例をグループ全体で共有し、約10万人の従業員が一丸となり、廃プラスチック削減に取り組んでいます。



ビニール袋での販売

再利用可能なプラスチックプレートでの販売